

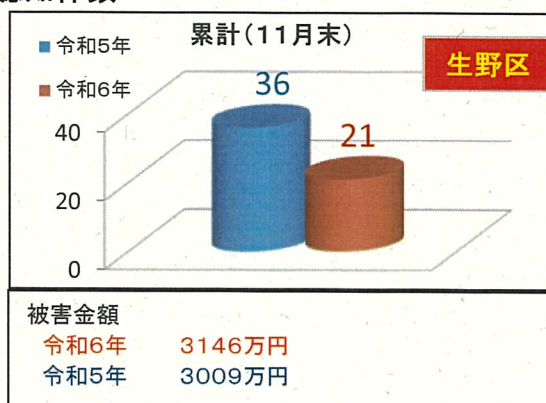


令和6年(11月末) 生野区内の犯罪発生状況

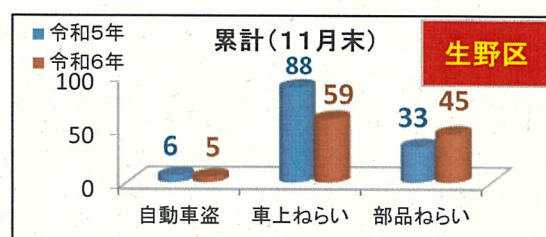
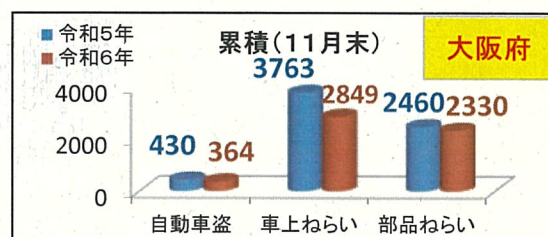


※認知件数は暫定値

特殊詐欺 認知件数

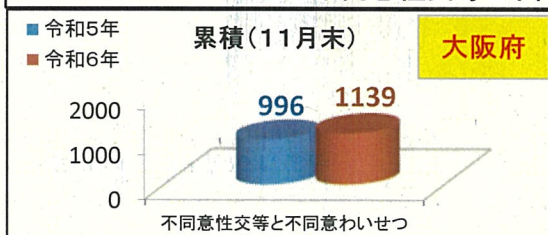


自動車関連犯罪 認知件数



性 犯 罪

不同意性交等と不同意わいせつ 認知件数



上記大阪重点犯罪の傾向

特殊詐欺認知件数は大阪府下・生野区共に減少しているが、被害金額はいずれも増加している。手口別では還付金が全体の45.1%を占めており、オレオレ詐欺の被害額が前年の約3.8倍となっている。

生野区の発生は、【手交型】が半数、残り3割が【還付金型】、2割が【架空請求型】である。NTTファイナンス騙りや警察官・入管職員騙りの振込型アポ電が増加傾向にある。アポ電の国際電話利用が急激に増えている。

自動車関連犯罪(自動車盗、車上ねらい、部品ねらい)は、大阪府下では全て減少している。生野区は、自動車盗は1件減少、車上ねらいは29件減少しているが、部品ねらいは12件増加している。

生野区は、車上ねらいは、6割が自転車の前カゴ内、残り4割が自動車の車内被害である。生野区は、部品ねらいの3割が自動車及び自動二輪車のナンバープレートの被害、残り7割は電動自転車のバッテリー、自転車のサドル及びその他車両の部品被害となっている。

特に、自転車のバッテリーが前年比+9件と大幅に増加している。

性犯罪は、大阪府下で前年比+143件であるが、生野区は前年比-4件となっている。